

JR北海道が賃上げなどの回答

定昇のみ/エルダースタッフに2万円/有給休暇1日増/扶養手当増額

北海道鉄道本部は3月16日にJR北海道から賃上げなどの回答を受けました。回答内容は、賃上げは定期昇給のみ（4号俸/50歳以上54歳以下は3号俸）ですが、エルダースタッフ（再雇用者）に「勤続奨励金」を新設し2万円支給、年次有給休暇1日増（初年度の付与日数を12日から13日に）、扶養手当増額（月額14,500円から15,000円に）などの前進がありました。賃金引き上げ額は1人平均5,593円（前年は5,570円）となります。

札幌市の臨時職員の賃金引き上げ

札幌市は3月15日に、新年度（平成30年度）の臨時職員の賃金引き上げについて札幌学童保育支部に回答を示しました。引き上げ率は初任給改定率を基本に職種ごとに0.4%~0.55%（注=第2種非常勤職員は0.38%）ですが、「保育士」については人材確保の緊急性から10%の引き上げ（時間額8,000円→8,800円）となります。

釧路地域支部あゆみ厚済分会が要求書提出

釧路地域支部あゆみ厚済分会は3月12日に要求書を提出しました。賃上げ要求はパート・守衛とも「時給1,000円」にすること、守衛の1勤務500円増額・24時間勤務1,000円増額と、夏季一時金「1.0か月分」を要求しています。

各職場組織の春闘要求書のコピーを道本部に送ってください
春闘の回答状況についての報告もお願いします

帯広の「健康相談会」に8人

十勝建設支部は3月18日に帯広市で「健康相談会」を開き、8人からの相談を受けました。この相談会にむけて、過去の相談者で労災申請に至らなかった人など約1,000人にダイレクトメールで案内をしました。相談内容の内訳は、振動障害3件、騒音性難聴4件、アスベスト疾患2件で、このあと個別の相談にはいります。

北海道トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会

3月16日に「第9回北海道トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会」が開かれ、今年度おこなったパイロット事業（農産物輸送）における改善検討結果が報告されました。報告では、①積込み時の荷役作業の一部をパレット利用することで荷役時間と拘束時間が短縮されたことや、②元請と実運送事業者の連携による積卸先件数の見直しで拘束時間を短縮できたことなどが明らかにされました。次年度のコンサルティング事業についての議論もおこなわれました。